

私たちに、ハグを

30th

[ヴェリイ]

6



別冊付録

navy

ダイヤモンド

ジュエリー特集

日常もレジャーも日焼け止めだけで
足りない私たちだから

2025夏

“UV対策オシャレ”に
まだまだ伸びしろあり!

オシャレと工夫とお茶目さが
詰まっていた
お仕事別・働くママの
「What's in my bag」

夏の入口、 Tシャツ一枚だと 「何だかなあ」問題

オシャレ、体形、気温……
すべての悩みが上半身に集約!

仲良くなりたい今の時期○
ご近所上手なママに学ぼう
「駅前〇〇いこっか!」
社交のオシャレ大研究

気になるのは、「辛口派の可愛い」
VERY世代こそ
“甘い”を更新しないと!

結婚、そして卒業……肩の力を
抜いてもいいかもって思えた今
VERY加筆編!
“盛らない。藤田ニコルさんの
リスタート美容を追ってみた!

私たちが好きなアイテムを
愛用している」と話題に
道枝駿佑さんと
VERYの“共通言語”♡

「タイパでコスバで
気持ちも楽になる」みんなの
ちょっとしたコツ。を全力取材!
忙しママが
毎日を成立させる
ライフハックBEST(31)!

元々D Kを仕切っていた壁を取り除き、開放的なキッチン
へと生まれ変わった。コンロと繋がるテーブルは、あえて
低く設置。作業台としてだけでなくダイニングとしての実
用性を持たせたことで、家族が座ってつづる場所にも。床
はフローリングからモールドックに変更。床の汚れも気
になりにくくなり、空間のゾーニングもきれい石二重。

気になる家族に会いに行く

「遊びに#1/7 おいでよ」が 似合う家

vol. 64



PR、フードスタイリスト、ブランドディレクターとして
これまでに幾度もVERYに登壇してくれた山本ア子さん。
中学生と高校生になった息子さんたちのために
部屋を作りたいという思いから、
16年暮らしたマンションをフルリノベーションしました。

撮影/川崎誠広基 取材/文/藤井スズ子
スタイリング/Portmanteau Yellow Orange
編集/大田巧子



屋を立てることでふた部屋に仕切り、コンパクトな子ども部屋に、「置いてあるのはベッドと机、共有のスケジュールボードのみのみで、二人とも十分な様子。部屋で忙しなく家以外で過ごす時間が増えたので備え付けすぎないうーがちゃんといのちもかしません。」(フレッシュ ナースビズ)や(GORDON MILLER)など、男子部屋に合いそうなBOXを駆使して、

ブランドPR時代に会社のシンボルだったテーブルを譲り受け、長年愛用。「大切な思い出が詰まっています」。ハモサの真鍮製ライトとの繋がりが見られるように、飾る小物も真鍮製が中心。

背腹収縮を温作。右側30cmほどにはガラスがちょうど1列収まり、それ以外は40cmほどの奥行きを持たせて鍋や皿が収まるように。取り出しにくさを回避し、収まる収まる心がけだ。

1 ガラス戸の奥は、元々和室だった場所。「ガラスの造作戸はスライド式で、視界が狭くなるからかなり開放的です」。部屋としての独立性、開放感、空間効率をいづれも叶える名案。

大型の分譲マンションには珍しくバルコニーの奥行さが2.4mと広々。最近床にタイルを貼り、居心地がより良くなった。「仕事をしたり笑ったりお茶をしたり、部屋が70とつづつ増えた感覚です」。

01

Family

16年暮らしたマンションをリノベーションして、もっと愛着が湧いた

「すい」の仲良しな、我が家のメンバーたちです。ア子さんのが、小さく見えます。まずは、男性陣が科小くかたまつて一つのタフレットを覗いている姿が、「こまである。何でも頼つてきたから。今年の暮、二人のお子さんは高校2年生と中学3年生に。勉強に集中できる場所を作れたから、丸16年暮らしのマンションのリノベーションに踏み切りました。長男が生まれたあとすぐに越してきたこの家は、ア子さん曰く「分譲マンションによくある間取り」でした。子育てがある程度落ち着いたア子さんを整えたいと思つたので、どうしても今のフオーマッドじや自分の心と乖離してしまつて。2年は、その物件を探しましたが、ア子さんの物件を探してもしませんが、長年住んだ場所をリノベした方が愛着がもつと湧きたらうと家族で決めました。改善した部分もわかつて上に進められるので、前より良くなる確信も持りました。一番目下だった子ども部屋は一部屋を壁で仕切り、今のお子さんたちに必要な場所が完成した。3LDKだけ私のワガママも叶えたくて、念願のファミリクローゼットも作りました。家事動線がとにかくスムーズ。男3人の服は似ているから、部屋は仕分けがでない英。でも一部屋に揃つていると自分たちで探るのて快適なようです。元々好きだったお風呂とキッチンが繋がる動線は残し、暮らしやすくなりました。息子が赤ちゃんと、今の頃から住んでいるこの土地では、お母さんでいられる。17年目の家には、これからもたっぷり愛情を注いでいきたいと思つています」。

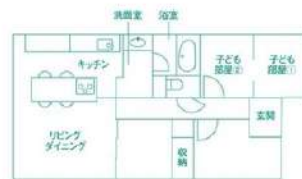
山本邸 DATA

東京都23区内

夫・妻・長男16歳・次男14歳

80㎡/築15年目のマンションをリノベーション

フリーランスPR、フードスタイリスト、Mother, Inc.のディレクターなど、様々な顔を持つ妻の宇子(きとこ)さん。レコード会社に勤務する夫、高校2年生の長男、中学3年生の次男の4人家族。新築で購入した17坪目のマンションを、子ども部屋を作ることをきっかけにリノベーション。設計は向原建築設計事務所。施工はE-workに依頼。



最近バルコニーを整えてから、外気浴をする機会がさらに増えたそう。ガラスポットは、YAECAで購入した日ノ出化学製作所のもの





▲ 堀野作のアルミ八角鍋

▶ 月曜印のポント



▶ MOEBEのウォールミラー



◀ DUendeの
ハイスツール

03 Things



▲ LOST AND FOUNDのプレート

▼ 京都市内藤商店の手ぼうき



▶ KANADEMONOの
キャビネットワゴン



▲ KUMIJIの壁掛け時計

- 1 — 部屋が整ったらいつか……と願っていたミラー。枠はなく真鍮のアクセントのみの極シンプルで遊びの部屋に馴染みやすい。
- 2 — 艶やかなステンレスと美しいウォールミラーに一目惚れ。「我が家では大人しかホットを飲まないで、二人分を沸かすのに丁度いい大きさ」。
- 3 — 大正13年前輩の老舗の職工房。「とにかく職人の手仕事が好き。しゃぶしゃぶや参鶏湯など季節ごとの大活躍！」。近況報告にて購入。
- 4 — REMASTERED FREEZER食器シリーズを採用。オーブンチャイナの通き通るような白は、どんな料理もおいしく見せる心地よい存在。
- 5 — キッチンで過ごすときに、ホッと一息つくために置いたハイスツール。「シンプルでミニマルなデザインが、リノベ後の我が家にとってぴったり」。
- 6 — 京都を訪れた際に手に入れた小さなほうき。「リビング学習が多かったので、ダイニングに飾らばった消しゴムのカスなどこれでサッと」。
- 7 — 子ども部屋の扉は引き出しのないシンプルなもののため、こちらを設置。マット仕上げで床にやさしく、アイアンの脚も個性抜群。
- 8 — 発売開始と同時に訪問者らしいこの時計。ア子さんもPC前で待ち構え、ついに手にできたそう。「型抜き文字が透けるとおもしろい」。



この連載にご登場いただけるおうちを募集中です。ご家族やおうちの写真、どんな週末を過ごしているかなどをご明記の上、編集部までお送りください。スタッフが遊びに行かせていただきます！(お送りいただいた資料やお写真は返却できませんのでご了承ください)
〒112-6011 東京都文京区宮前1-16-6 (株)光文社VERY編集部(遊びにおいでよ)係